



令和6年10月17日
三ツ星保育園 遠藤美也子

朝晩冷え込むようになり、朝、登園時の服装を迷われていることも多いのではないのでしょうか。日中、体を動かすと汗ばむことがありますので、上着の下に半袖を着用するなど、調整しやすい服装がおすすめです。(パーカーや紐がついている上着は、思わぬところに引っかかって窒息事故を起こすリスクがあるため、園生活を送る上では不向きな洋服となります。着用しないようにお気を付けくださいね。)

もうすぐ運動会！

昨日、運動会の見どころを発送しました通り、クラスごと、子ども達の興味関心があるものや運動機能の発達状況に合わせて競技へと繋げ、楽しみにしながら運動遊びに取り組んでいます。

乳幼児期は、ハイハイ、歩く、走る、投げる、跳ぶ、転がるなどたくさんの動きを習得し、この時期に身に付けた基本的動きが土台となって、その後の生活の中での身のこなしや複雑な動きを体感していくことで、危険を回避して自分の体を守る力もついてきます。また、『〇〇をやってみたい』という挑戦意欲は、頑張ろうとする力となり達成感を得たり、簡単なルールのある遊びを通して友だちと一緒に遊ぶ楽しさや競いあうことの面白さを味わったり、悔しい経験も再チャレンジに向けて自分の気持ちに折り合いをつけるなど、心の成長に大きく関係してきます。

思考・言葉・創造・協同・規範・対人関係・社会性など遊びを通して身に付くため、この時期にたくさん経験することが、とても大事なのです。

運動会当日は、運動機能の発達面だけではなく、子どもたちの心の成長にも目を向けていただき、大きな声援と拍手をお願いします。



子どもも大人も幸せになる関係作り

先日、人権をテーマとした研修会を受講しました。子どもも大人も温かいまなざしで幸せになる子育て・保育の内容になっていましたので、少し紹介をさせていただきます。

思考に気をつけないさい	それはいつか言葉になるから
ことばに気をつけないさい	それはいつか行動になるから
行動に気をつけないさい	それはいつか習慣になるから
習慣に気をつけないさい	それはいつか性格になるから
性格に気をつけないさい	それはいつか運命になるから

『マザーテレサのことば』引用

『人格の土台が形成される乳幼児期にとって一番大切なのは、子どもの権利を尊重したかかわりであり、小さな子であってもその子に承諾を得て接することが人としてのマナーである。“子どものために～”とした対応は大人の自己満足であり、思い込みや決めつけは脳が勝手にパターン化する癖があるため、気を付けなくてはならない。“子どもにとって～”という思考でかかわっていくことが安心した生活に繋がっていく。

頑張らないと許されない環境は自信をなくし、みんなと同じを求めると不安な気持ちを増長させ同調圧力を生む。子どもの行為・表現・遊びには個人差や独自性があり、みんな違うことが認められることが大事。その子の持つ力を信頼し、今だけを見るのではなく、長い時間をかけて広く観る視点が大切である。』

子どもたちの健やかな成長は、かかわる大人の人的環境によって大きく影響されることを肝に銘じ、マザーテレサの名言を心して保育にあたりたいと思える研修でした。